

達者です ④2

健康が宝物

西村ヨシさん

80歳 (通6区)

「の原点は魚ですね」

花づくりが好きで、家で使う花は自分で作っている。「今は菊ですが、季節に応じた花を作っています。忙しい時にはなかなか世話ができず、草ぼうぼうになります。まあ自分で使う花ですから」と笑う。老人クラブの仲間とダンスやグラウンドゴルフにも行っている。今年初めてボウリングにも挑戦したそうで、「点は、初めてなのでダメですよ。でも何事も経験です。初めから上手な人はいませんから」と。

「人に『ばあちゃんは歩くのが速いね』と言われるのですが、これも今のところ痛いところもなく、お日様の下で働いているからですかね。おかげで色も真っ黒ですが、健康こそが宝だと思っています」

わくわく ひろば

市民の皆さんのページです
あなたの情報で、ひろばは
さらにイキイキ ②3117

エンジン 仲間達



川畑 慶子 さん
(通1区)

③9

一期一会の気持ちで

茶道教室

昭和30年、公民館活動の一環として茶道部が発足しました。当時の指導は西本先生でしたが、41年頃から私が後を受け今日に至っています。

稽古は薄茶が主ですが、お祭りやお正月前には家でお茶を点てられるように、盆点の稽古をします。連客の稽古が大切な

ですが、点前の方が主になって、連客の稽古がなごりになりま
す。生徒さんも慣れてこられた
ので、連客の稽古に替えていか
なければと思っています。
おいしいお茶をお客様に差し
上げるには、茶と湯の和合のさ
せかたでしょうが、これが各自
の課題で
す。未熟
ではあり
ますが、一
常に一期
一会の気
持ちを忘
れずに、
和を求め
て精進し
たいと思
っています。



③2

ちょっと小耳にはさんだ

高校生活の夢をかけて

「1級販売士」へチャレンジ

榎崎真司さん 右

(鳥越2区)

舛谷義明さん 左

(旭町区)



川村安利教諭をはさんで

長門高校商業科3年の榎崎真司さんと舛谷義明さんは、10月2日に行われた「2級販売士」試験に合格。長門高校では初の快挙となりました。

「将来の中小企業診断士をめざす中で、当面は小売業や販売業について勉強したいとの思いで受験を決めました」と2人は動機を話してくれました。

「試験の範囲が学校の授業に

ない、小売業全般の常識、職場組織の管理や部下の指導養成、仕入情報管理、販売技術、材料管理、販売事務、商品知識など多岐にわたるため、特別の課外で夏休みを返上し取り組みました。専門用語・法律用語が多く、そのうえ会社の仕組みの理解も必要で、毎日最低12時間は勉強しました。あまりにも机に向かうので親が心配するほどでした」

指導した川村安利教諭は「7月の3級合格後に2級のチャレンジを決め、受験までの3か月間、2人は本当に一生懸命取り組んだし、よく勉強した。興味を覚えることが合格への第1歩を実践してくれました。この姿勢こそ彼らの大きな財産です」と最大の賛辞を贈ります。

2人は進路も決まり、今新たな目標として2月中旬の「1級販売士」の受験に取り組んでいます。「不眠不休で高校生活を燃焼させます」と口をそろえて意気込みを語ってくれました。